

第6章

競技者育成のための指導法

テキスト147～172ページ

■学習した項目

1 トップアスリートを育てるために ～指導者が持つべき視点～

トップアスリートの育成にかかわるコーチに求められる役割や、持つべき視点について。

2 トップアスリートの育成・強化の方法とその評価

意図した目標達成のための、計画的な練習方法やその評価活動について。

3 競技力向上のためのチームマネジメント

チームとはどうあるべきなのか、チーム・個人が共に満足し得る具体的な指導法について。

4 競技力向上のための情報とその活用

グローバル化と情報化の中での競技力向上のためのアスリート支援。

Q1 トップアスリートを育てるために～指導者が持つべき視点～

- 1) トップアスリートを育てるために、指導者はどのような視点を持つべきだと思いますか。グローバルな動向や情報を踏まえた上で、以下の観点からあなたご自身の考え方をまとめてみましょう。→148ページ

1. トップアスリートの競い合いによる社会的影響（好影響・悪影響）

2. トップアスリートを育てる社会的意義

3. トップアスリートを育てる指導の実践にあたって鍵となる要素

4. トップアスリートを育てる我が国の特徴的な取り組みからみた視点

- 2) トップスポーツの舞台における今日的課題について、あなたは指導者としてこのような事象にどのように対応しますか。さまざまな立場や視点から、その背景や課題の本質、あるいは今後のあり方などについて考えをまとめてみましょう。➡148～149ページ

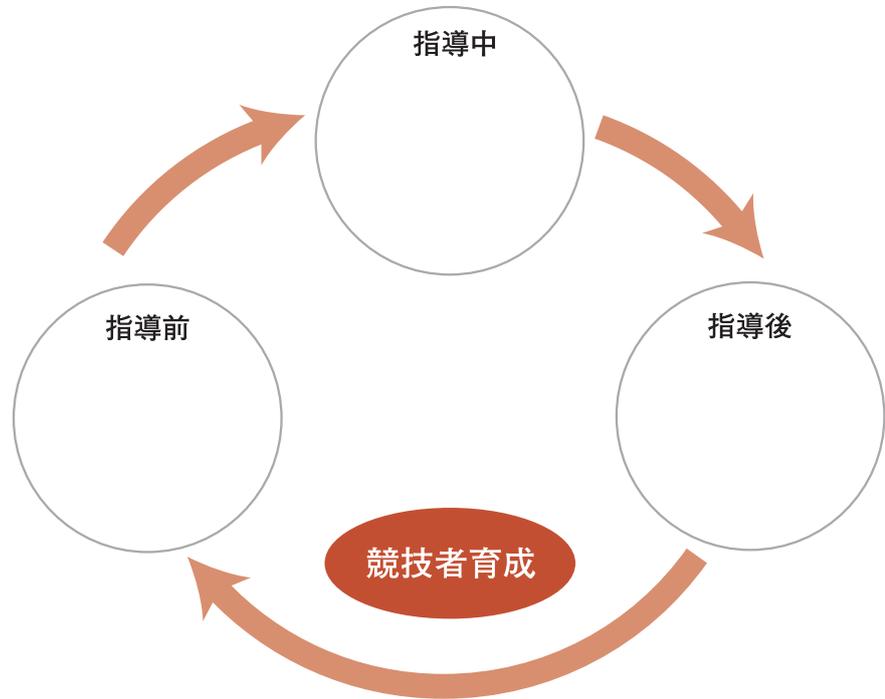
トピック1：ビデオ判定などの導入について
トピック2：サポーター（応援者・観戦者）のあり方について
トピック3：競い合いの平等性（イコール）について
トピック4：戦術的プレイとアンフェアな行為との違いについて
トピック5：SNS活用のリスクとモラルについて

Q2 トップアスリートの育成・強化の方法とその評価

- 1) 競技者の育成にあたり、意図した目標が達成されたか、練習が計画的に進められ、どのような成果があげられたかなどの評価活動が不可欠です。評価をするにあたって、次の言葉の意味を理解しておきましょう。➡153～155ページ

	言葉の意味
診断的評価	
形成的評価	
総括的評価	

2) 図の空欄を埋め、指導計画をより質の高いものとするための「指導計画の評価サイクル」を理解しておきましょう。➡153ページ



3) 総括的評価を行うにあたっての、主な判断項目についてまとめましょう。
➡155ページ

●	_____

●	_____

●	_____

●	_____

●	_____

4) スポーツにおけるさまざまな評価方法について、その方法と内容について理解しましょう。➡155～156ページ

何と比べるか	絶対評価	
	相対評価	
	個人内評価	
誰が、誰を評価するか	自己評価	
	他者評価・相互評価	

5) 競技者育成にあたっては、競技者に対する評価だけではなく、指導者自身の評価についてもバランスよく実施すべきです。指導者の評価や反省項目について、どのような基準で評価をしていけばよいでしょうか。➡156ページ

1)	
2)	
3)	
4)	
5)	
6)	
7)	

Q3 競技力向上のためのチームマネジメント

- 1) 日本におけるスポーツ集団の問題点についての指摘がありますが、あなたが関与している（指導者としてかかわっている）集団の特徴についての現状と今後のあり方についてまとめてください。➡157～158ページ

あなたが関与している集団の特徴	今後どのような集団であるべきか

- 2) チームレベルの高度化により、さまざまな専門分野のスタッフが必要となり、それぞれに役割と責任を明確にする必要があります。あなたがかかわるチーム(クラブ)に必要なスタッフについて現状のスタッフとこれから必要になるであろうスタッフについてまとめておきましょう。➡158~159ページ

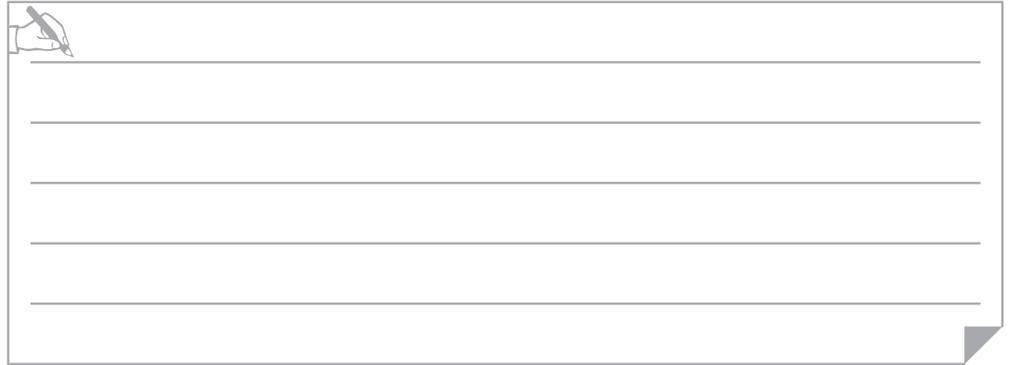
現状のスタッフ

	分野	役割名
スタッフ側	コーチング	
	医・科学・情報	
	メディカル	
	マネジメント	
アスリート側	リーダー	
	フォロアー	

これから必要なスタッフ

	分野	役割名
スタッフ側	コーチング	
	医・科学・情報	
	メディカル	
	マネジメント	
アスリート側	リーダー	
	フォロアー	

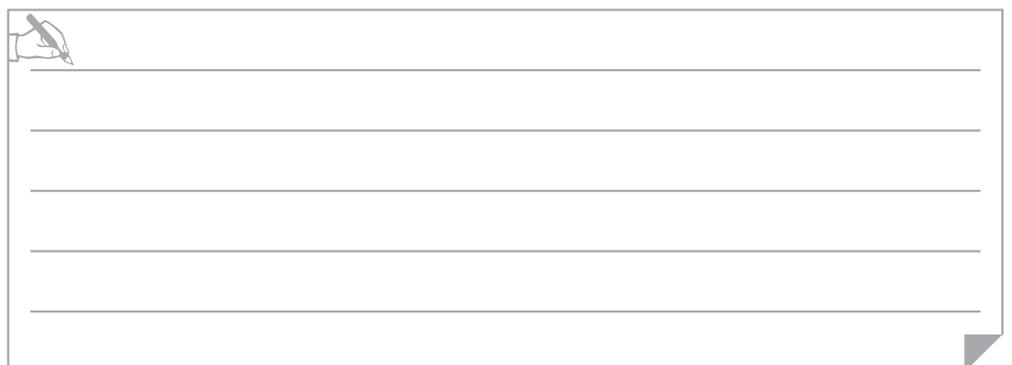
3) 「チームをマネジメントする」とは、どのようなことを指しますか。 ➡161ページ



4) 競技力を向上させるための重要な資源である「ヒト」、「モノ」、「カネ」、「情報」、「時間」についてまとめてみましょう。 ➡161～162ページ

「ヒト」	
「モノ」	
「カネ」	
「情報」	
「時間」	

5) 「望ましいチームマネジメントのあり方」について注意すべき点とは何でしょうか。説明してください。 ➡161～162ページ

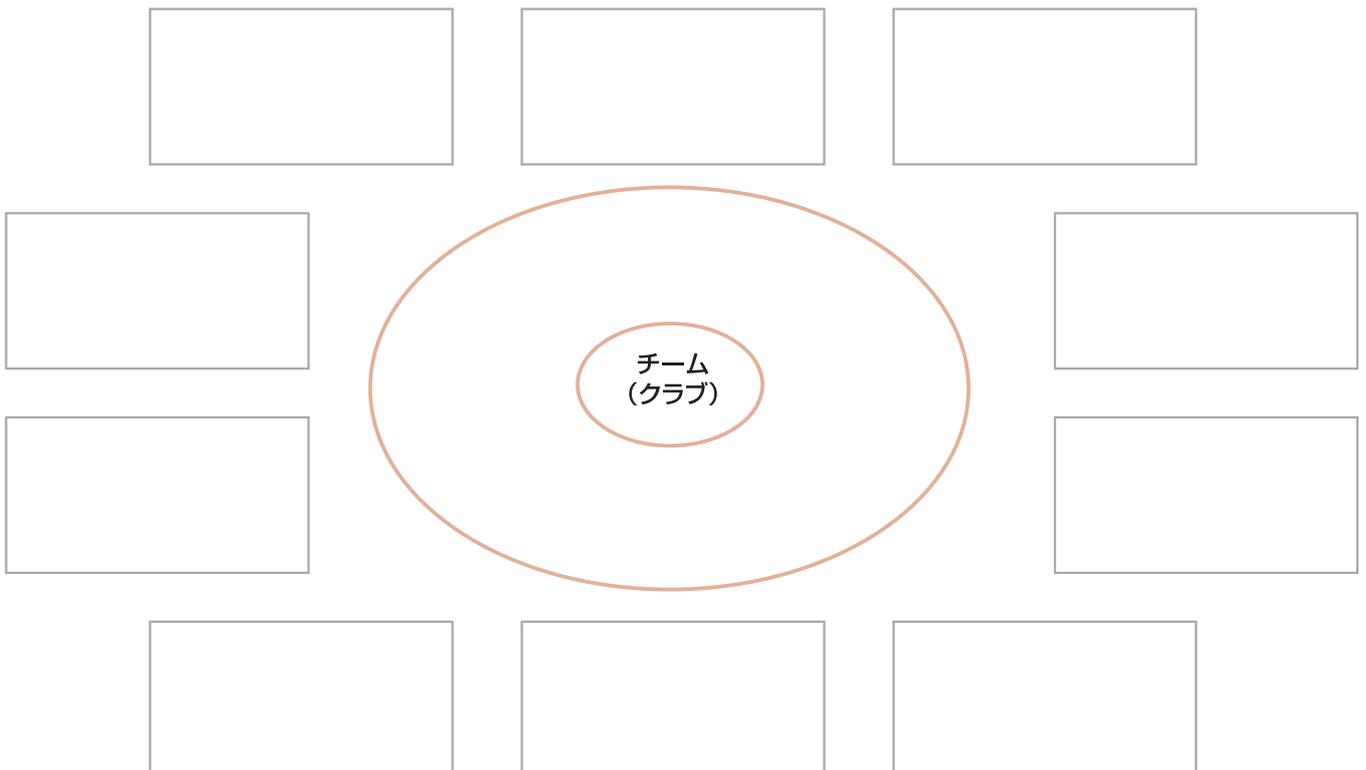


6) 競技力向上の「場」とその役割分担について、あなたがかかわるチーム（クラブ）における役割分担を整理してください。➡162～163ページ

チームの場	責任者	項目	推進者	主な活動

7) あなたがかかわるチーム（クラブ）のステークホルダーズ・リレーション・マップを作成してみましょう。➡164～165ページ

ステークホルダーズ・リレーション・マップ



8) あなたがかかわるチーム（クラブ）のSWOT分析を、チーム（クラブ）にかかわるメンバーと一緒に「ブレインストーミング」してみましょう。➡165～166ページ

ブレインストーミングのルール

1. 年齢、地位、性別は関係ありません。必ず1回は発言し、楽しく行いましょう。
2. 自由なアイデアを歓迎し、アイデアは質より量をこころがけましょう。
3. 他の人のアイデアに耳を傾け、接点を求めたり、新たな発想に展開したりするようにしましょう。
4. 他の人の話をさえぎったり、批判・否定したりしないようにしましょう。

SWOT分析シート

外部因子 内部因子	機会 Opportunity どのような機会（チャンス）があるのか具体的に記入	脅威 Threat ライバルや活動上の脅威や障害となる事項を具体的に記入
強み Strength 強みを具体的に記入	強み(S)×機会(O) 「強みを拡大するチャンス」を具体的に記入	強み(S)×脅威(T) 「強みを脅かす因子」を具体的に記入
弱み Weakness 弱みを具体的に記入	弱み(W)×機会(O) 「弱みを強みに変えるチャンス／弱みを生かす方策」を具体的に記入	弱み(W)×脅威(T) 「弱みをさらに拡大させる因子」を具体的に記入

Q4 競技力向上のための情報とその活用

- 1) あなたが指導をする上で使っている情報をテキストの概念に沿ってInformationとIntelligenceに分けてみましょう。➡168～169ページ

Information	Intelligence

- 2) あなたが指導をする上で普段行っている情報収集方法について、次の三つ（オシント、ヒューミント、テキント）に分類してみましょう。➡169ページ

オシント	ヒューミント	テキント

3) あなたはテキスト170ページの表2の中で活用しているSNS等がありますか。その活用方法について記載してください。➡170ページ

表2●ネットワークサービス一覧表（2013年1月現在）

名称	内容
グーグル (Google)	世界中のあらゆる情報を検索するためのツールを提供している、インターネット上の検索エンジン。
ツイッター (Twitter)	ツイートと呼ばれる140文字のメッセージから成り立つ情報ネットワーク。
フェイスブック (Facebook)	もともとハーバード大学で学生向けにサービスを開始したソーシャルネットワークサービス (SNS) の一つ。
ミクシィ (mixi)	日記、つぶやき、カレンダー、アプリなど友人と一緒に利用できるソーシャルネットワークサービス (SNS)。
グリー (GREE)	日記、コミュニティ、ひとこと、フォトアルバム、携帯電話ゲーム等を扱うソーシャルネットワークサービス (SNS)。
アマーバブログ	株式会社サイバーエージェントが運営するブログサービス。多くの有名人、芸能人が利用している。
ユーチューブ (YouTube)	インターネット動画共有サービスである。現在はGoogleの傘下に入っている。
ニコニコ動画	動画の画面上にコメントが書き込めることが特徴の動画共有サイト。
モバゲー (Mobage)	ソーシャルネットワーキングサイト (SNS) の一つ。ソーシャルゲームが楽しめるほか、日記・掲示板・アバター・メッセージ送受信・ゲームのチャットなどのサービスを提供している。
スカイプ (Skype)	マイクロソフト社が提供するP2P技術を利用したインターネット経由や携帯回線で無料通話ができるソフト。テレビ電話だけでなくチャット (インスタントメッセージ) も可能。
ライン (LINE)	携帯電話 (スマートフォン・フィーチャーフォン) ・パソコン向けのインターネット電話やテキストチャットなどのリアルタイムコミュニケーションを行うためのインスタントメッセンジャーである。
はてな	株式会社はてなが運営するポータルサイト。

ネットワークサービス	活用方法